

# 統計スポット情報

No. 153

21. 1. 26

福井県総務部政策統計課

## － 県内市町別将来推計人口(平成 20 年 12 月推計)について －

平成 20 年 12 月、国立社会保障・人口問題研究所から、市区町村別の将来推計人口(平成 17(2005)～平成 47(2035)年)が発表されました。

今回、政策統計課では、このデータをもとに、県内 17 市町の将来推計人口の状況についてグラフを用いてわかりやすくまとめました。

### I 推計方法の概要

#### 1 推計期間

平成 17(2005)～平成 47(2035)年まで 5 年ごとの 30 年間。

#### 2 推計方法

5 歳以上の年齢階級の推計においては、コーホート要因法を用いた。コーホート要因法は、ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態(生残)率や移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法である。一方、0～4 歳人口については出生率に関する仮定値が必要であるが、市区町村別の出生率は年による変動が大きいことから、子ども女性比(0～4 歳人口/15～49 歳女子人口)の仮定値によって推計されている。

なお、上記の方法により各市区町村別に推計値を求めた後、男女・年齢別推計人口の都道府県内全市区町村の合計が、「日本の都道府県将来推計人口(平成 19 年 5 月推計)」による各都道府県の男女・年齢別推計人口の値と一致するよう一律補正を行ったものを、最終の推計結果としている。

\*推計方法の詳細は以下をご覧ください。

⇒ <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/gaiyo.pdf>

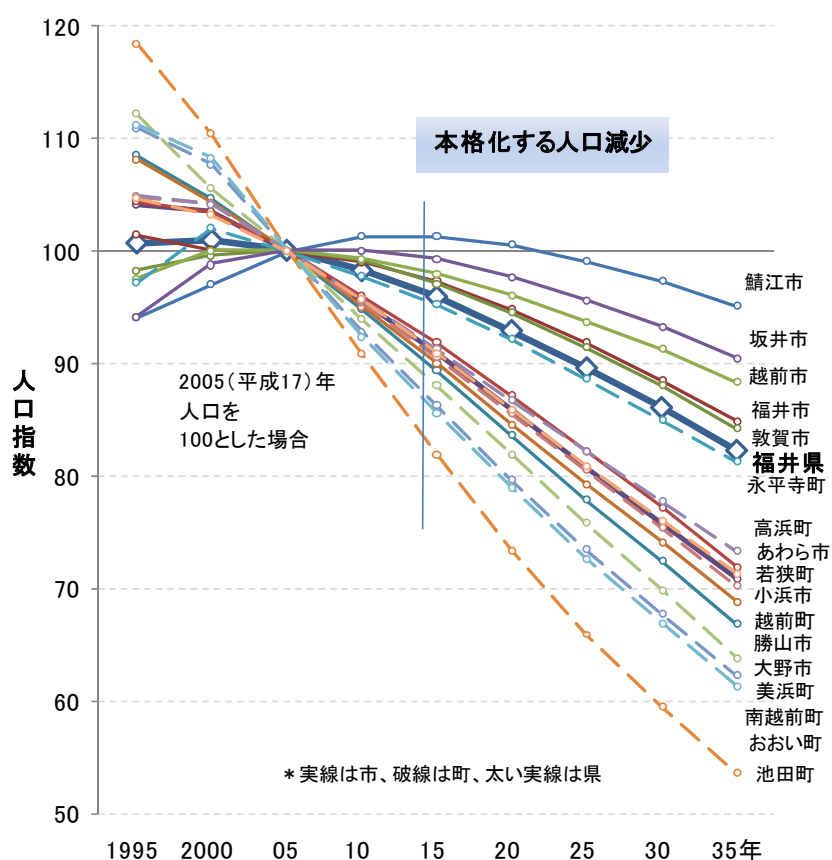
(国立社会保障・人口問題研究所ホームページ)

## II 推計結果の概要

### 1 2010年頃以降、県内の全市町が人口減少過程に入る

県内各市町の2005(平成17)年人口を100とした場合の人口指数の推移をみると、鯖江市、坂井市では2005年から2010年にかけて人口(指数)が増加するものの、2010年から2015年には減少に転じ、県内17市町すべての人口(指数)が減少することとなる。

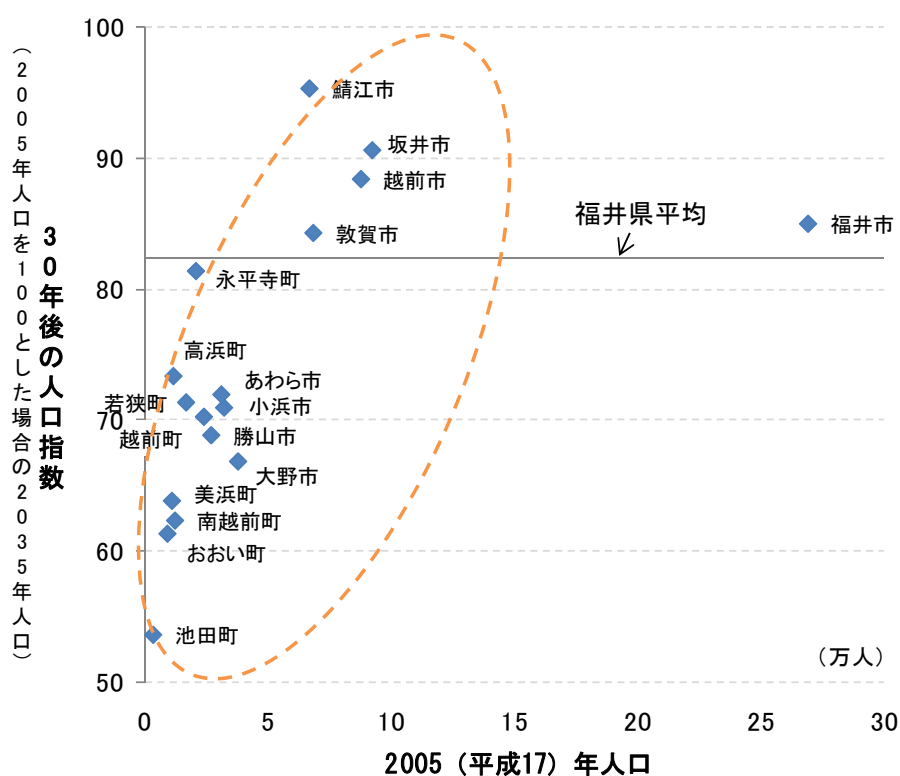
(図1)人口指数の推移(2005年人口を100とした場合)



### 2 拡大する市町間の人口格差

県内市町の2005(平成17)年人口とそれを100とした場合の30年後(2035年)の人口指数をみると、人口の多い市町では人口(指数)の減少率が少なく、人口の少ない市町では人口(指数)の減少率が大きい傾向がみられ、今後、県内市町間の人口格差(人口の多寡の差)は拡大する。

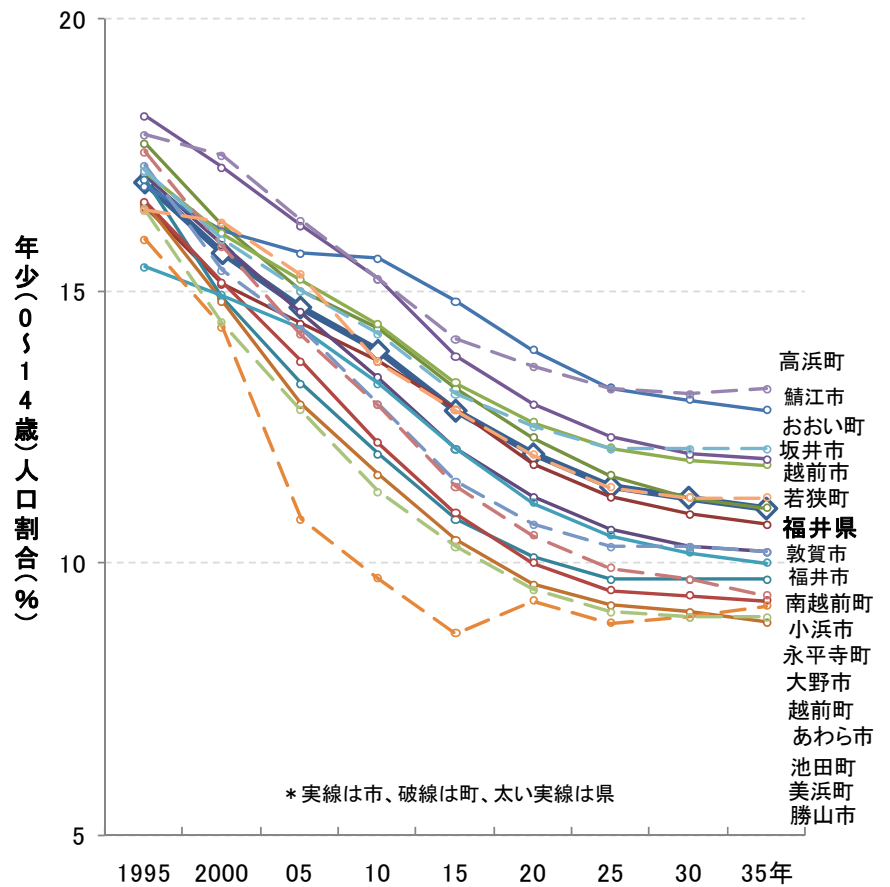
(図2)2005年人口および30年後(2035年)の人口指数



### 3 さらに進行する少子高齢化

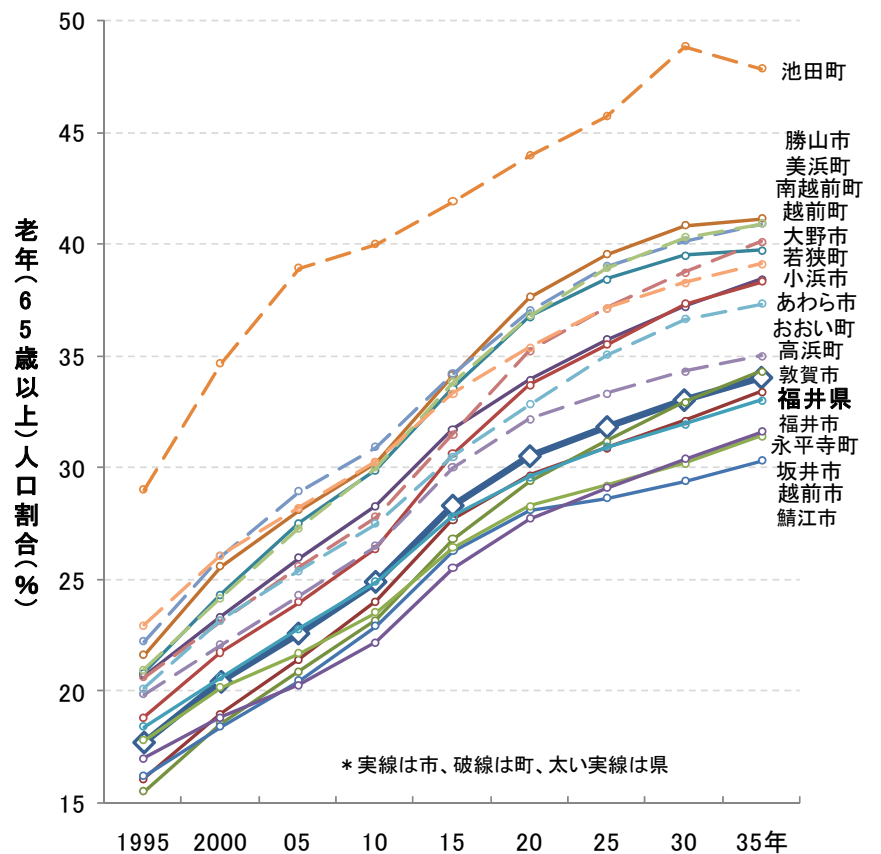
県内各市町の総人口に占める年少(0～14歳)人口割合は、多くの市町において2005年の15%前後(約7人に1人)から2035年には10%前後(約10人に1人)に低下する。

(図3) 年少人口割合の推移



県内各市町の総人口に占める老年(65歳以上)人口割合は、多くの市町において2005年の20%～30%(約4人に1人)から2035年には30%～40%超(約3人に1人)に上昇する。

(図4) 老年人口割合の推移

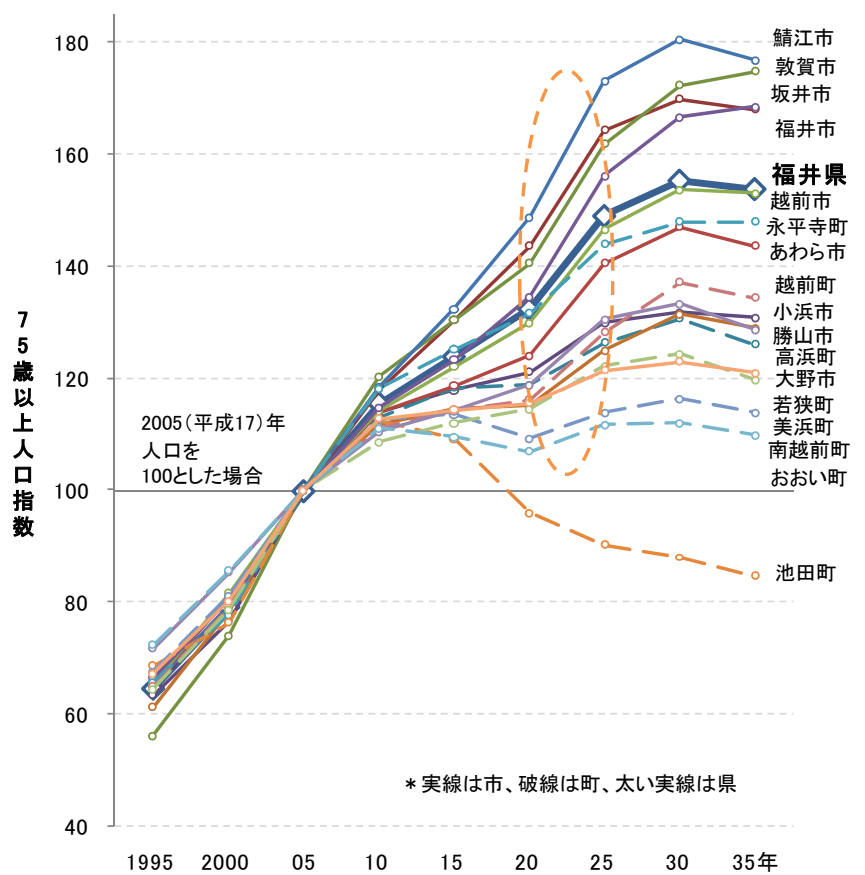


#### 4 県内の多くの市部において、今後も急増する 75 歳以上人口

県内各市町の 2005(平成 17)年の 75 歳以上人口を 100 とした場合の人口指数の推移をみると、福井坂井、丹南地区の市および敦賀市では、75 歳以上人口(指数)が 2030 年頃にかけて引き続き急速に増加する。一方、奥越地区の市および小浜市や多くの町では、今後、75 歳以上人口(指数)は緩やかに増加もしくは横ばい傾向で推移する。

なお、2020 年から 2025 年にかけて、団塊の世代(昭和 22~24 年生まれ)が 75 歳以上となることから、多くの市町で指数が大きく上昇する。

(図5)75 歳以上人口の推移(2005 年人口を 100 とした場合)

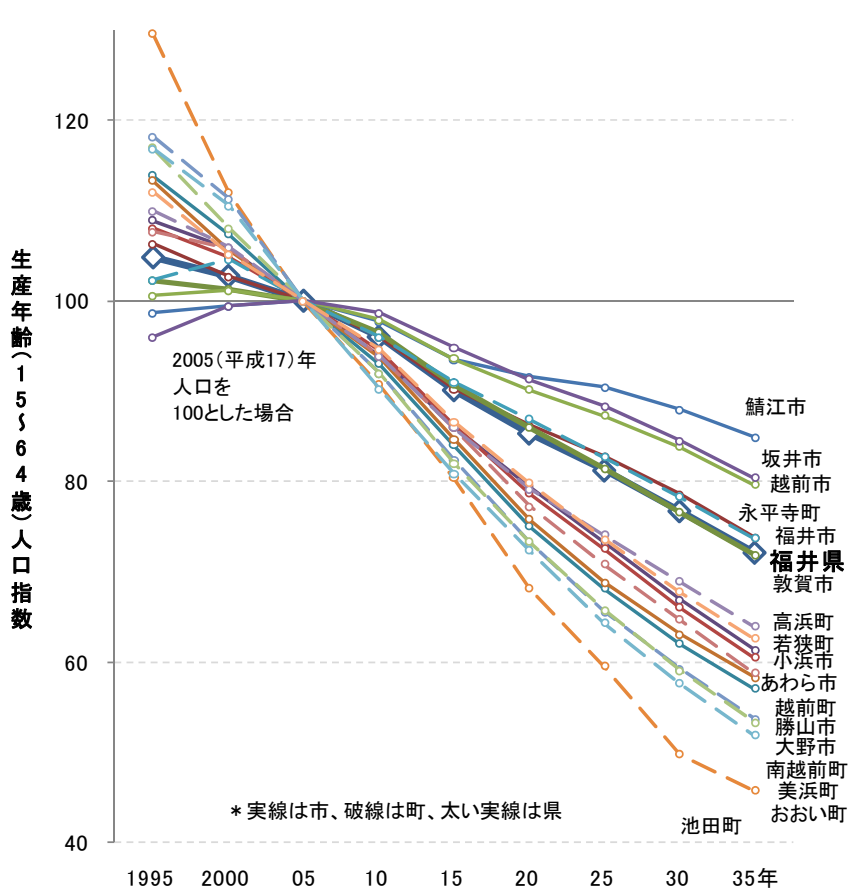


#### 5 生産年齢人口は 2005 年頃以降、県内全市町で減少

県内各市町の 2005(平成 17)年の生産年齢(15~64 歳)人口を 100 とした場合の人口指数の推移をみると、鯖江市、坂井市では 2000 年から 2005 年にかけて増加がみられたが、2005 年から 2010 年には減少に転じ、県内 17 市町すべての生産年齢人口(指数)が減少する。

地域別にみると、奥越、嶺南地区の市町等において、生産年齢人口(指数)の減少率が大きい。

(図6)生産年齢人口の推移(2005 年人口を 100 とした場合)



(表)市町別総人口の推移

(人)

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
福井県	826,996	828,944	821,592	807,179	787,606	763,198	736,067	707,208	676,110
福井市	272,970	269,557	269,144	266,467	261,848	255,247	247,218	238,246	228,452
敦賀市	67,204	68,145	68,402	67,763	66,448	64,628	62,514	60,207	57,601
小浜市	33,496	33,295	32,182	30,754	29,267	27,650	26,009	24,403	22,817
大野市	41,069	39,632	37,843	35,873	33,826	31,650	29,481	27,387	25,289
勝山市	29,162	28,143	26,961	25,625	24,253	22,817	21,385	19,972	18,547
鯖江市	62,890	64,898	66,831	67,707	67,681	67,150	66,245	65,081	63,638
あわら市	32,432	32,178	31,081	29,826	28,518	27,062	25,546	23,997	22,356
越前市	85,533	87,699	87,742	87,092	85,878	84,200	82,224	80,008	77,480
坂井市	86,870	91,173	92,318	92,362	91,544	90,088	88,287	86,158	83,582
永平寺町	20,183	21,182	20,764	20,301	19,763	19,113	18,403	17,659	16,880
池田町	4,032	3,759	3,405	3,091	2,790	2,500	2,244	2,026	1,825
南越前町	13,616	13,221	12,274	11,396	10,591	9,784	9,024	8,322	7,648
越前町	25,158	25,017	23,995	22,883	21,745	20,524	19,310	18,098	16,835
美浜町	12,362	11,630	11,023	10,353	9,695	9,025	8,353	7,691	7,032
高浜町	12,201	12,119	11,630	11,117	10,614	10,082	9,556	9,040	8,524
おおい町	10,251	9,983	9,217	8,510	7,892	7,268	6,696	6,164	5,648
若狭町	17,567	17,313	16,780	16,057	15,252	14,410	13,569	12,749	11,959
(地域別)									
福井坂井	412,455	414,090	413,307	408,956	401,673	391,510	379,454	366,060	351,270
奥越	70,231	67,775	64,804	61,498	58,079	54,467	50,866	47,359	43,836
丹南	191,229	194,594	194,247	192,169	188,685	184,158	179,047	173,535	167,426
嶺南	153,081	152,485	149,234	144,554	139,168	133,063	126,697	120,254	113,581

\* 推計データの詳細は以下をご覧ください。

⇒ <http://www.ipss.go.jp/> (国立社会保障・人口問題研究所ホームページ)